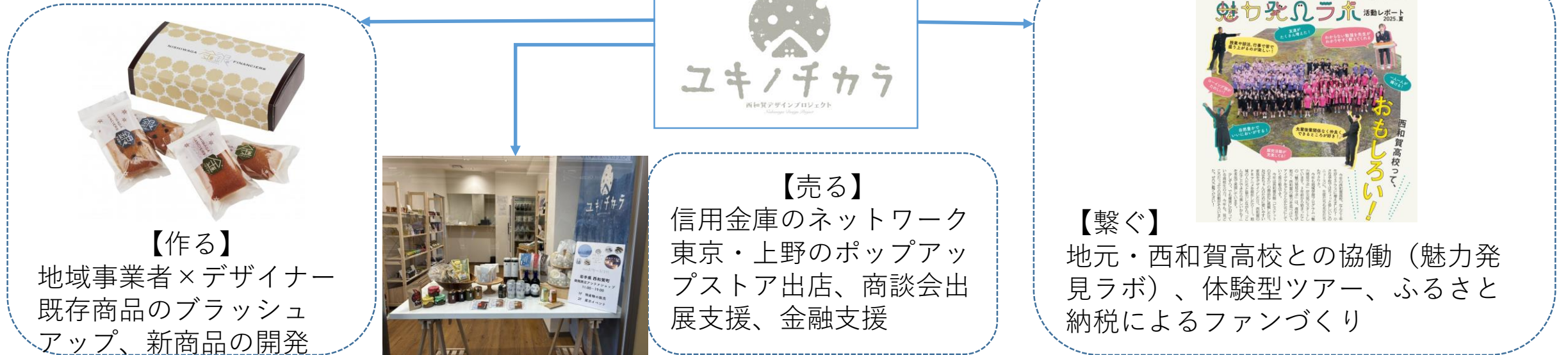


西和賀町地域ブランド「ユキノチカラ」プロジェクトの取組

- ・岩手県西和賀町は岩手・秋田県境の特別豪雪地帯（年間累積降雪量 10m）。「県内で一番最初に消滅する町」と言われている。雪深い地域ならではのおいしい食材がそろっているものの、地域の魅力を十分にアピールできていない。
- ・そこで当金庫と西和賀町が連携し、信金中央金庫、日本デザイン振興会と連携スキームを構築し、2015年「ユキノチカラ」ブランド発足。デザイナーと連携した商品開発・販促を実施。「作る」から「売る」までトータルで支援。

■地域×ビジネス×デザインの融合



- ・2019年、町の事業から事業者主体の「協議会」で事業実施。2020年にはブランドマネージャーが西和賀町に移住。以後事務局を担当し体制が充実した。2023年、「地域商社事業」を開始。ふるさと納税の企画運営を担当。
- ・2024年、当金庫、朝日信用金庫、信金中央金庫、しんきん地域創生ネットワーク(株)の連携支援プロジェクトとして東京・上野の「上野しんきん館」に期間限定のポップアップストアを出展。首都圏での地域製品の販売や観光PRを支援した。
- ・2025年、創設10年を迎えた。参画者数も当初6社から13社に拡大「西和賀町＝ユキノチカラ」の定着から将来的には町のフロントショップ（拠点店舗）の設立を目指す。